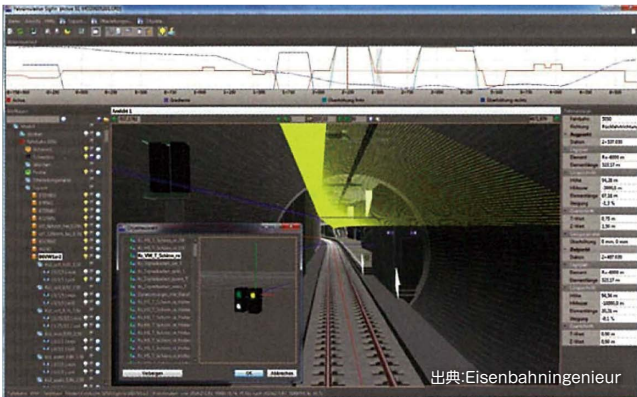


## 信号

### シテイトンネル・ライプツィヒ： 幾何学的シミュレーションと信号の視認性

原題：City-Tunnel Leipzig：Geometrische Simulation und Signalsicht  
誌名：EI：Eisenbahningenieur Vol.65 No.4 (2014-4) p28-36

多くの鉄道プロジェクトにおいては、営業開始に先立って信号の視認性を検証しなければならない。これに対応するため、高い信頼性の下で新しい技術を駆使した3D数値解析の活用が推奨される。そこで、幾何学的な分析を行う際に必要とされる理論的背景を整理し、シテイトンネル・ライプツィヒの線路構造条件を実施例として、高精度な動的3Dモデルによるシミュレーションを行い、実際の視認性に対する整合性を確認した。



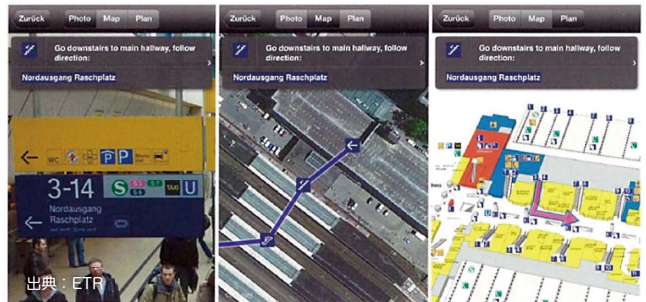
信号の視認性を検証するための動的3Dモデル

## 情報

### 旅客情報の将来 – 柔軟性のある顧客のための柔軟なシステム

原題：Fahrgastinformation der Zukunft flexible Systeme für flexible Kunden  
誌名：ETR：Eisenbahntechnische Rundschau Vol.63 No.4 (2014-4) p52-57

運輸会社は今日、最新の豊富なデータにもとづく旅客情報を保有し、顧客においても技術的な装備が進歩して、移動中でもスマートフォンによってさまざまな情報に接触することができる。このことは、旅行・交通の選択肢を増やし、移動経路の誘導も可能にする。さらに、データ提供に関する革新的方法により、顧客に追加的な意思決定手法の提供が可能となる。



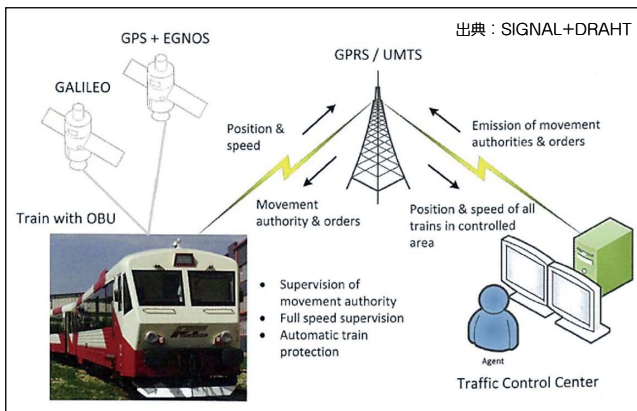
ÖV-Navigationによる駅構内の経路誘導 (出典：HaCon社)

## 信号通信

### SATLOC – GNSSにもとづく低密度線区用の列車防護

原題：SATLOC-GNSS based train protection for low traffic lines  
誌名：SD：SIGNAL+DRAHT Vol.106 No.4 (2014-4) p49-53

GSA (欧州全地球航法衛星システム監督庁) によって支持され、EFP7資金援助の研究プロジェクトであるSATLOCプロジェクトは、低密度線区用のコスト効果の高い列車制御システムである。システムはGNSS (全地球測位システム) にもとづく列車位置検知、車上信号、ETCSレベル3で導入される無線データ通信を利用している。



SATLOC (人工衛星を用いた列車制御プロジェクト) の概観

## 経営

### ギリシャ鉄道改革の最新情報

原題：On the cusp of change  
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.171 No.4 (2014-4) p62-65

Train OSE (ギリシャ鉄道) は現在、2,500kmの路線網で旅客輸送と貨物輸送を行っている。国の財政破綻状況下での再建と今後の民営化を視野に入れて、国際貨物輸送を開始した。現在、同鉄道の列車運行業務の民営化計画に対して、ロシア、フランス、ルーマニアなどから応札があり、新会社への移管が予定されており、車両保守についてはアルストム、シーメンス、RZD (ロシア鉄道) などが興味を示している。



ギリシャの鉄道路線図



WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーで紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。  
⇒ 新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。  
⇒ 問合せ (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp